

平成19年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	i・コミュニティによる「ジョブ・コンシェルジュ」の開発		
法人名	学校法人 創造社学園		
学校名	創造社デザイン専門学校		
代表者	理事長 明上 友幸	担当者 連絡先	松村 眞吾(まつむらしんご) TEL06-6452-5541
<p>1. 事業の概要</p> <p>(主題・ねらい)</p> <p>「キャリア指導のよろず全般」に対応する「ジョブ・コンシェルジュ」を開発した。在学中のみならず入学前から卒業後のあらゆる指導過程の多様な相談ニーズに情報提供だけでなく課題解決のための提案やコーディネートのサービスで応えるための「i・コミュニティ」(URL:www.jobconciierge.jp)を構築し、コンシェルジュの背景に多くの異なる領域の相談員を控えさせ、相談内容に応じて適した専門家や事業者が複数で対応できる先導的なタスク・フォースの仕組みを汎用可能な標準モデルとしてWEB上で構築しました。</p> <p>(実施内容)</p> <p>実施内容は、在学中のみならず入学前から卒業後のあらゆる指導過程の多様な相談ニーズに情報提供だけでなく課題解決のための提案やコーディネートのサービスで応える為 (1)学校などが行う総合学習や職場実習を支援できる階層別の標準指導プログラムとして「専門職の入り口講習4系統」、「卒業後のケア講習2系統」の開発。(2)コミュニティを通じて複数の専門家と相談者が双方向で情報を共有できる基幹システムi・コミュニティ「ジョブ・コンシェルジュ WEBサイト」の開発。(3)異なる領域の相談員を控えさせ、相談内容に応じて適した専門家や事業者が複数で対応できる先導的なタスク・フォースの事業の枠組みを開発した。</p> <p>(1)標準指導プログラム開発</p> <p>「専門職の入り口講習」</p> <p>① 職業内容理解のための教育プログラム：15講座 15職種分野：「マスコミ・広報」「広告・出版・編集」「印刷・DTP」「イラスト」 「写真・映像」「VI・マーク・サイン」「販促・SP」「ディスプレイ・イベント」 「WEB」「ゲーム・マルチメディア」「建築・環境」「インテリア」 「家具・建具・エクステリア」「生活雑貨」「工業製品」</p> <p>② 職業意識向上のための啓発プログラム：2講座 「プロの仕事と実態」「タウンウォッチング」</p> <p>③ 職場体験のモデルプログラム：5講座 5デザイン分野：「グラフィック」「イラスト」「インテリア」「ディスプレイ」「プロダクト」</p> <p>④ 職業適性の相談プログラム：1プログラム</p> <p>「卒業後のケア講習」</p> <p>① キャリア・アップのモデルプログラム：15講座 ② 起業や開業の講習プログラム：15講座</p> <p>(2)i・コミュニティ「ジョブ・コンシェルジュ WEBサイト」の開発</p> <p>①「i・コミュニティ」の構築(機能の体系化) ②上記、WEBサイトの構築</p>			

(3) ジョブ・コンシェルジュの事業枠組み

- ① ジョブ・コンシェルジュ標準コーディネイトプログラムの開発: 1プログラム
- ② ジョブ・コンシェルジュ資格標準体系の開発: 1プログラム
- ③ 先導的なタスク・フォース運用フレーム

2. 事業の評価に関する項目

① 目的・重点事項の達成状況

- a) 個人ニーズにとどまらず学校などが行う総合学習や職場実習を支援できるシステムとして専門職への階層別キャリア指導の標準指導プログラムとして、専門職の入り口講習4系統、卒業後のケア講習2系統で計53の講座とその標準体系が開発できた点。
- b) 入学前から卒業後のあらゆる指導過程の多様な相談ニーズや課題解決の為の提案、コーディネイトのサービスなど、キャリア指導全般に対応するインタラクティブなコミュニティの基幹システム「ジョブ・コンシェルジュWEBサイト」を構築し立ち上げた点。

■「ジョブ・コンシェルジュ WEBサイト」 URL : <http://www.jobconciierge.jp>
- c) 上記の運営を担保するインフラ開発を含め、異なる領域の相談員を控えさせ、相談内容に応じて適した専門家や事業者が複数で対応できる先導的なタスク・フォースの事業の枠組みが開発できた点。

② 事業により得られた成果

a) 標準指導プログラムの全完成

当事業で開発した「専門職の入り口講習」「卒業後のケア講習」の完成によって、既存システムとしてある専門職を学ぶ学生の為の「橋渡し講習(ナビワークショップ)」と合わせて、学びの選択から進路指導、転職までのあらゆる指導過程のプログラムとして提供できる環境が整ったこと。

■ 専門職の入り口講習

- ① 職業内容理解のための教育プログラム
- ② 職業適性の相談プログラム
- ③ 職業意識向上のための啓発プログラム
- ④ 職場体験のモデルプログラム

■ 専門職を学ぶ学生の橋渡し講習

- ⑤ キャリア・ガイダンス
- ⑥ 就職セミナー
- ⑦ 後押し講習
- ⑧ インターンシップのモデルプログラム

■ 卒業後のケア講習

- ⑨ キャリア・アップのモデルプログラム
- ⑩ 起業や開業の講習プログラム

b) ジョブ・コンシェルジュ運用の初期タスク・フォースメンバーが配置できた点

(相談員、キャリア指導専門家)

- ① 異なる領域の相談員(外部)(14名)
- ② デザイン専門職の相談員15分野(14名)
- ③ キャリア指導の専門家(2名)

③ 今後の活用(教材ならばどのように活用していくか)

- a) 当事業にて開発した「専門職の入り口講習」は、デザイン分野に興味関心のある全ての方に適性や方向付けを行い必要な情報・技能等を体感・体験できる多様な講座を提供できます。この教育プログラムは継続性をもって行うことにより職業意識の向上をはかり、間違いのない進路を見極めることができるシステムとして活用します。また、「卒業後のケア講習」に関しては、自己の職業能力の向上や領域拡大、起業・開業を目指す卒業生への支援講座として展開します。より高い能力を持った人材の育成にて業界の活性化に繋げるものとします。
- b) 「ジョブ・コンシェルジュ WEBサイト」で構築したコミュニティを本校学生、並びに外部一般に向けて開放します。事業終了後も引き続き維持し多様な相談ニーズに対応してまいります。

④次年度以降における課題・展開

利用者の間口の広さ、公共性の高い業務内容、取り扱うサービスの専門性から「i・コミュニティ」に中立的な求人企業や職能団体、公共の振興組織、キャリアコンサルタントなどキャリア指導の専門家を更に多く配し、多元的な運営としていきます。

このため継続事業としてWEBの専門知識が少ない個人でも容易にホームページを制作でき、かつ管理できるシステムとしてCMS(Content Management System)のあり方を研究するとともに、デザインカウンスル(NPO法人)のコア・コンテンツとして更に開発を進化させる計画です。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

実施委員等を団体、その他のステークホルダーで構成するため委員の意見に調査の目的がそもそも集約されますのでニーズ調査など各種調査は行いません。

②カリキュラムの開発

(テーマ)

■専門職の入り口講習

- ①職業内容理解のための教育プログラム:15講座 ②職業適性の相談プログラム:1プログラム
- ③職業意識向上のための啓発プログラム:2講座 ④職場体験のモデルプログラム:5講座

■卒業後のケア講習

- ①キャリアアップのモデルプログラム:15講座 ②起業や開業の講習プログラム:15講座

(開発経緯)

職業教育に関して何時でも何処でも誰でも一定の水準以上のキャリア指導を受けることができる仕組みとして「コーディネーター」を置き、個人ニーズにとどまらず学校などが行う総合学習や職場実習を支援できるシステムとして階層別の「標準指導プログラム」を開発した。

(対象)

■専門職の入り口講習

デザインの仕事に興味があり、職業選択や将来の進路を模索している者

■卒業後のケア講習

デザイン関連の仕事従事者、または起業や開業を目指している者

(手法)

■専門職の入り口講習

- ①職業内容理解のための教育プログラム
 - ・モノづくりの楽しさを体感する ・達成感を持たせる ・デザインという仕事内容を理解する
- ②職業適性の相談プログラム
 - ・自分を知る ・現状の問題点を把握する ・適性に気付かせる ・目標を持たせる ・方向付ける
- ③職業意識向上のための啓発プログラム
 - ・ユーザー視点でプロの仕事に触れる
 - ・町中のデザインを見ることでデザイン業務の領域とデザインの生活との関わりを知る
- ④職場体験のモデルプログラム
 - ・プロの現場を見る・見学を通じ、仕事の流れが理解できる ・モノ・人・仕事の流れが理解できる
 - ・自分の興味関心を探ることができる

■卒業後のケア講習

- ①キャリアアップのモデルプログラム
 - ・他分野の業務を知り、自身の能力をどう活かすかの視点を持たせる
 - ・ステップアップするために不足する部分をどう補うかの指標を示す
- ②起業や開業の講習プログラム
 - ・起業、開業を行うために自分は何をすればよいかを引き出すテーマを見つけさせる
 - ・またそれに対し、必要な要素が何かを気付かせる

(開発内容)

■ 専門職の入り口講習

① 職業内容理解のための教育プログラム

分野	1) マスコミ・広報	1講座6テーマ	2) 広告・出版・編集	1講座6テーマ
	3) 印刷・DTP	1講座6テーマ	4) イラスト	1講座6テーマ
	5) 写真・映像	1講座6テーマ	6) VI・マーク・サイン	1講座6テーマ
	7) 販促・SP	1講座6テーマ	8) ディスプレイ・イベント	1講座6テーマ
	9) WEB	1講座6テーマ	10) ゲーム・マルチメディア	1講座6テーマ
	11) 建築・環境	1講座6テーマ	12) インテリア	1講座6テーマ
	13) 家具・建具・エクステリア	1講座6テーマ	14) 生活雑貨	1講座6テーマ
	15) 工業製品			

② 職業適性の相談プログラム

- 1) 「起・承・転・結」 1プログラム

③ 職業意識向上のための啓発プログラム

分野	1) プロの仕事と実態	1講座6テーマ	2) タウンウォッチング	1講座6テーマ
----	-------------	---------	--------------	---------

④ 職場体験のモデルプログラム

分野	1) グラフィック	1講座	2) イラスト	1講座
	3) インテリア	1講座	4) ディスプレイ	1講座
	5) プロダクト	1講座		

■ 卒業後のケア講習

① キャリアアップのモデルプログラム

1) デザイン領域の拡大	1講座
2) 一人でキャリアアップ	1講座
3) 今からのデザイナー就職	1講座
4) 新たなる就職活動	1講座
5) 経験者と第二新卒者の就職活動について	1講座
6) 再就職と雇用保険	1講座
7) 再チャレンジ・再就職	1講座
8) デザイン領域の拡大	1講座
9) 新たなるデザイナー	1講座
10) 新たに覚えるデザイン知識	1講座
11) デザイナーとしてのスタッフ管理	1講座
12) チーフデザイナーの役割分担	1講座
13) デザイン事務所の組織論	1講座
14) デザイン事務所ボスの役割	1講座
15) デザイン管理者養成講座	1講座

② 起業や開業の講習プログラム

1) デザイン事務所独立開業	1講座
2) デザイン事務所のネットワーク構築	1講座
3) デザイン新技術講習学習会	1講座
4) デザイナースタッフ教育	1講座
5) デザイナー管理者研究	1講座
6) デザイン事務所・株式会社	1講座
7) 独立から分社	1講座
8) 先輩デザイナーの足跡をたどる	1講座
9) デザインネットワーク	1講座
10) デザイン同窓会	1講座
11) 企画研究会	1講座
12) 開業講習会・資金・金融	1講座
13) 開業講習会・人材・雇用編	1講座
14) 開業講習会・税務・経理編	1講座
15) デザイン事務所の経営戦略コーチング	1講座

③実証講座

■専門職の入り口講習

(実証講座のテーマ)(受講者数)

①職業内容理解のための教育プログラム

職業内容を知るために体験・体感を目的とした制作実習講座を実施した。

デザインという仕事を理解するための疑似体験学習としての効果を狙った。

1) マスコミ・広報	22人	2) 広告・出版・編集	30人
3) 印刷・DTP	19人	4) イラスト	23人
5) 写真・映像	14人	6) VI・マーク・サイン	7人
7) 販促・SP	13人	8) ディスプレイ・イベント	14人
9) WEB	4人	10) ゲーム・マルチメディア	10人
11) 建築・環境	13人	12) インテリア	6人
13) 家具・建具・エクステリア	21人	14) 生活雑貨	11人
15) 工業製品	7人		

(期間) 平成19年9月1日～平成20年1月20日

(受講者の属性) デザインの仕事に興味があり、職業選択や将来の進路を模索している高校生、短大・大学生、社会人

(場所) 創造社デザイン専門学校

(実証講座のテーマ)

②職業適性の相談プログラム:「起・承・転・結」

ヒアリング、問題抽出、アドバイスを中心に、自分の適性・方向性を決定するカウンセリングを実施した。

各自の適性発見のプロセスを踏ませた。

(受講者数) 127名

(期間) 平成19年9月1日～平成20年3月5日

(受講者の属性) デザインの仕事に興味があり、職業選択や将来の進路を模索している高校生、短大・大学生、社会人及び本校在校生

(場所) 創造社デザイン専門学校

(実証講座のテーマ)(受講者数)

③職業意識向上のための啓発プログラム

プロの仕事が日々の生活の中でどのように関わっているかを町の探索などで体感・体験させた。

日々の生活の中でデザインが人・生活に与える影響などを確認し、仕事への意識を向上させた。

1) プロの仕事と実態	10人	2) タウンウォッチング	10人
-------------	-----	--------------	-----

(期間) 平成19年9月17日～平成20年2月18日

(受講者の属性) デザインの仕事に興味があり、職業選択や将来の進路を模索している高校生、短大・大学生、社会人及び本校在校生

(場所) 創造社デザイン専門学校及び校外

(実証講座のテーマ)(受講者数)

④職場体験のモデルプログラム

プロの現場を見て、プロの仕事現場を体感し、その仕事内容や流れを自身の目で確認し、仕事への理解を深めることを目的として実施した。

1) グラフィック	17人	2) イラスト	10人
3) インテリア	7人	4) ディスプレイ	4人
5) プロダクト	6人		

(期間) 平成20年2月2日～平成20年2月27日

(受講者の属性) デザインの仕事に興味があり、職業選択や将来の進路を模索している高校生、短大・大学生、社会人及び本校在校生

(場所) 創造社デザイン専門学校及び各企業

■ジョブ・コンシェルジュ標準コーディネイトプログラム

(実証講座のテーマ)

やりたい仕事に繋ぐ学習相談や就業活動に沿った就業計画を相談する「学内相談員」、就業活動のあとおし指導を担当する「学内キャリアコンサルティング担当者」、企業情報・各分野業界の情報発信に繋げる「外部相談員」をまとめる「学内コーディネータ」として、それぞれの希望職種にあわせた活動計画や相談員の斡旋紹介、転職・独立・起業計画のアドバイスを行った。

(受講者数) 114名

(期間) 平成19年10月16日～平成20年2月29日

(受講者の属性) デザインの仕事に興味があり、職業選択や将来の進路を模索している高校生、短大・大学生、社会人及び本校在校生

(場所) 創造社デザイン専門学校

(受講者の反応)	1) 講座内容について	大変面白かった	49%
		面白かった	39%
		面白くなかった	12%
2) デザインに対する興味	大変興味がわいた	58%	
	興味がわいた	30%	
	興味がわかなかった	12%	

●オリジナルのデザインを作ること。それを通じてコミュニケーションやきっかけをつくることの出来るデザイナーを目指したい。

●情報社会の中で、充分に対応できるデザイナーになりたい。

●主観的ではなく、客観的に物事を考え、納得いくものを作りたい。

●人や環境に優しく、癒しの場を提供できる街並みを作りたい。

●ものづくりは楽しいと改めて感じた。

●デザインの仕事にはたくさんの種類があり、費用や時間がかかるということを再認識した。

④その他

当事業は、学校教育の中にデザイン関連団体等の外部のステークホルダーを取り入れた事業枠組みを構築し、その取り組みの中から生み出される新たな付加価値によって、ニーズに対応したクライテリアを発見し、事業クオリティーの向上を目指して実施しています。

又、その成果の提供(WEBサイト)を行い、デザイン業界、地域全体の波及効果を出して、持続発展的に行える事業として取り組んでいます。